

議会だより発行準備特別委員会会議録

(令和6年5月1日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会だより発行準備特別委員会会議録

本日の会議 令和6年5月1日(水)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	金 繁 典 子	副委員長	少 林 法 子
委員	尾 崎 恵 一	委員	嘉 喜 山 茂
委員	池 田 栄 次	委員	吉 田 茂 生

欠席委員

なし

出席委員外議員

議 長 佐々木史仁

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	本 多 幸 雄	主幹	小 松 一 恵
係長	山 口 昌		

本日の委員会に付した案件

- 「議会だよりの発行準備に関する調査研究」
(1) 議会だより(試作号)について
(2) その他

開 会 10時00分
閉 会 11時05分

○**少林副委員長** 時間になりましたので、議会だより発行準備特別委員会を始めさせていただきます。それでは、委員長挨拶からよろしくお願いします。

○**金繁委員長** お疲れさまです。嘉喜山委員が遅れるようですけれども、議会だより試作号について、前回に引き続き編集作業を行います。編集作業、今日はあちらの向かいの部屋で行います。前回と同様、編集作業に入りますので、録音を中止して休憩します。

(休憩)

○**金繁委員長** はい。それでは休憩前に引き続き委員会を開きます。

ただいま編集作業が終わりました。議会だよりの試作号については完成ということで、編集作業を終了しました。それで、一応、この完成版一步手前のところで、議員全員に感想を聞いていただきました。タブレットのほうに議会資料1として入っているんですけども、1から10まで意見を頂いています。これについて、皆さんの御意見を頂こうと思うんですけど、どのようにするか。

一つ一つについて議論していきますか、ちょっとお話ししていきますか。

じゃあ、1番目。文字数が多い、読んでいただけるか、という点に関してはどうでしょうか。ほかの議会だよりに比べるとページ数も半分で、全体としての文字数が多いという感じではない、多いというわけではないと思うんですが。これはレイアウトとかによって見えやすくする工夫をプロの方にしていただくと、読みやすさはぐっと上がると思うんですが。皆さんの御意見はいかがでしょうか。

尾崎委員。

○**尾崎委員** 今日の試作品を見た限りでは、現時点ではもうこれで文字数はいいんじゃないかなと感じております。

○**金繁委員長** はい。どうですか、ほかの方。

少林副委員長。

○**少林副委員長** もうこれ大概みんなで見て、もうぜい肉をそぎ落として骨だけにしておりますので、これ以上はちょっと無理かなというふうに思います

○**金繁委員長** タイトルのつけ方とかによってもまた読みやすさとかも変わってくるのではないかと思いますけど。例えばこの委員会の報告というタイトルとかを、委員会よりって変えるだけでも随分イメージが変わったかと思うんですが。

今回、文字数が多いという御意見についてはいいですか。嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** 私はまだ多いと思っています。

ただ、どこまで削ったらいいのかっていうのはちょっと案はありませんが。

○**金繁委員長** ほかの方どうですか。吉田委員。

○**吉田委員** 絞りに絞ってこうですから、別にQRコードつけていますので、これ以上必要な詳細な方、知りたい方についてはQRコードを見ていただけたらと思うんで、文字数、これ以上はちょっとほんと悲しいかな、厳しいと思います。

○**金繁委員長** そうですね。はい。

池田委員はよろしいですか。

○**池田委員** なかなか自分で作ると欲が出る、欲が出るっていうか欲ではないんですが、趣旨を表現しようとするときれぐらいの文字数が要ると思います。それか割り切って、割り切って

しまつて、もう本当に短かくするんであれば、執行部との、答弁者との調整もあると思うんですが、本当に14文字ぐらいであれする。答弁も「できます」「できません」「調査します」「検討します」ぐらいでやめてしまつて、QRコードでっていうのもあるかなとは思うけど。逆に中を見てQRコードで見てもらえなかったら誤解を招くと困るかなという気もします。

自分の質問内容については、そういう短かくすることもできると思いますが、答弁のほうはやっぱりちょっとあれしてすると、なかなか難しいかなとも思います。

○金繁委員長 そうですね、はい。文字数は今の状態で良いのではないかという方が多いので、このままいきたいということでもいいですかね。

一般質問も相当削りまして、ほかの議会の議会だよりを見ると、1人大体1ページいただいて書いていますよね。なので私たちは半分にして、さらにそこから削り、600字ということなんで、一般質問に関しては多いということにはならないのじゃないかと。で、ほかのところもそんなに、委員会の報告も広報あいなんに載せていたときより短いぐらいですよ。なので、文字数についてはこのままいきたいということにしたいと思います。

2番目。議員全員紹介なのか、テーマの意見なのか、最終ページにすべきでは、ということなんですけど、これはサンパールの跡地に関する議員全員の意見の2ページについての御意見かなとお察しするのですが。

吉田委員。

○吉田委員 多分趣旨が分かってなくて、今回全員がそのサンパールの跡地の意見っていうのを出したのは、一般質問していない方が多いので、不公平感が生じるということで今回このページを作りましょうということなんで、別に議員紹介でもなんでもなくて、そこをきっちり今回携わっていない議員の人たちに、きちつと言えば理解をしてくれると思います。で、次回ここに住民の声が入るのか、もしくは、なんて言うんですか、将来的なことで何か入るのか、この欄はうまく話し合いをして決めていければいいのかなと。今回については一般質問していない方がいるので、不公平感が生じるということで今回このテーマにしましたってことをきちつと説明すれば、ここは解決するんじゃないでしょうか。

○金繁委員長 そうですよ。皆さん、ほかに御意見はありますか。異論はありますか。

尾崎委員。

○尾崎委員 もうこれも吉田委員のおっしゃるとおりで、これはもうテーマに対する意見であります。それで、一般質問の前に出ているというところも、これはこれで町民の関心事が非常に強いことであるので、このページで私はいいと思っております。

○金繁委員長 はい。よろしいですか、じゃあそのように説明させていただきます。

では次、3番。時間をかけている割に読まれる議会だよりになっていないのではという厳しい御指摘ですが、これについてはいかがでしょうか。

吉田委員。

○吉田委員 これ思ったほど時間かけてないですよ。いや短い時間だと思います。総合すればだつてそんなに。これはもう却下。

○金繁委員長 あの、この委員会の外から見たらずっと、1年ぐらいやっているように見えるのかもしれませんが、そういう意味かもしれませんね。

どうですか。吉田委員。

○吉田委員 すいません、あと一つ。読まれる議会だよりになっていないのではっていうのは、これから今後、これが読まれる議会だよりで改善していく試作なんで、そこは意見をもらって、どういうふうにしたらじゃあ読まれるあれになるのかっていうのをどんどんどんどん広げていくべきだと思います。これは意見として聞いておけばいいんじゃないですか。

○金繁委員長 そうですね。まさにいろんな御提案を頂きたいところですよね。
嘉喜山委員、どうぞ。

○嘉喜山委員 やはり特別委員会の報告とか一般質問でもう過去の問題なんで、やはりそこを言われとるんかなと僕は思います。
だから、今後ここをどうするかは検討課題としたらそれでいいかなと。

○金繁委員長 そうですね、検討課題でしょう。これからこの試作版について専門家の御指導も受ける予定になっていますので、そこでも、ほかの議員さんからはもちろん、専門家の方の意見も聞いて、読まれる議会だよりにしていきたいですね。
ではこれは課題ということによろしいでしょうか。

次、4番目。せっかく予算と時間をかけるのだから、町民にモニターになってもらい、意見をもらう仕組みをつくれば良いのでは。これはね、当初からこういう課題は話し合ってきましたが、どうですか、皆さん。今の時点でなかなか、やるとなると大変だと思いますけれども、内子も松前もやっていたからね。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 やはりこれは必要かなとは思いますが、今の試作の段階では特にどうこう言う必要もないのかなと思います。

○金繁委員長 これも3と同じで、課題ということで、前向きに捉えているということによろしいですか。はい。

5つ目。議員の意見より町民に1部配布して議会だよりの意見を聞くべき、についてはどうでしょう。意見を聞くことはいいと思うんですけど、いかがですか皆さん。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 4番と一緒に、もうそれ検討課題。この試作版を配布するかどうかはちょっとどうなのかな。デザイン後にしなかったらちょっと意味がないのかなと思います。デザインを考えていない中に出しても、とは思いますが。

○金繁委員長 そうですよ。はい、尾崎委員。

○尾崎委員 今試作段階ってことで、最初からもう完璧なものというのはできるわけもないし、その必要もないと思います。これから正式に発行していく中で、定期的に町民の感想を聞きながら、都度修正を加えて、最終的にいいものができればいいと思うので、私はそのように考えています。

○金繁委員長 そうですね。よろしいですか、皆さん。異論はないですか。

(「なし」と言う者あり)

○金繁委員長 そうですよ。都度聞きながら、町民の意見をね、良いものにしていきましょう。でも知り合いの町民の方に見せて御意見を聞くのはもちろんいいと思うんですけど、配布という形でね、発行ではないので、そこまでは考えていないということでもいいですかね。

6番。企画ページよりも、一般質問していない議員にも公平に半ページ程度必要ではない

か。一般質問していない議員に公平に半ページ程度必要ということなんですけれども、これについてはどうですか皆さん。9番目の一般質問をやめて、ここはもうやめるとこまでって言われていますけど、私の視点などに変更して議員全員に枠を設けるということですが。

吉田委員。

○吉田委員 意味がよく分からないんですが、議会だよりですから。それはちょっと意を反しているんで。私の視点だったら自分が勝手に出せばいいんじゃないですかね、後援者の方に。議会だよりですからあくまでも。そこはちょっと意味が全然違っているというふうに思います。

○金繁委員長 そうですね。はい、嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 僕はちょっと違うんですけど、やはりここは、さっきも言ったように過去の記事を載せるよりも、やはりその議会に出なかった意見っていうのを議員個人に求める。そういったことのほうが読んでもらえるかなと思うんで。それで、ここにみんなに公平に半ページ程度与える、これのほうが私はいいと思います。

○金繁委員長 その公平に半ページ程度与えるっていうのは、何について書くんですか。それは議案について、それとも普段自分が思っていることとか。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 そういうことです。その議会、定例議会の案件に対してどう自分で感じたかとか、自分でその質疑をした内容の真意とか、ということのほうがいいんじゃないかなと僕は思います。

○金繁委員長 議案についてっていうことでいいですか。

(「一般的に全体になる」と言う者あり)

○金繁委員長 尾崎委員。

○尾崎委員 これ8ページでしょ。8ページに収まらんことないですかね、まずは。14人にそれぞれの意見を聞きよったら。過去と現在と未来と当然あるんやけど、今回のこのサンパールはこれから将来のことでもあるし、一般質問も過去のことではないと思います。今の現状の問題点をあぶり出して、今後町はどのような政策をするかということ質問するわけなので、一般質問自体は私は基本的に未来のことを語っていると思うので、過去にあった一般質問を報告する、ではないと思います。そういうふうに私は思っております。

○金繁委員長 なるほど。うん、そうですね、はい。なので、一般質問はやめてという9番の意見に対しては、やめなくていいと、未来のことであるという意見ですね。

池田委員、どうぞ。

○池田委員 これ一般質問とか、やっぱり全議員さんに公平にっていうことで、一般質問だけじゃなくて議会で過去のことって言われたらそれでおしまいなんですけど、質疑とか、議案に対する質疑とかもされているんで、それを載せてもらおうとかがっていうことを考えれば、皆さんに公平にいくんじゃないかなと。そうしないと、一般質問していない人は、今回の試作号のように企画稿でそういう意見は出せると思うんですけど、自由な意見は出せない。企画稿でやってしまうとそれに対する意見しか出てこないんで、そこら辺がちょっと公平性に欠けるんやないかと思います。

○金繁委員長 嘉喜山委員と同じように、一般質問しなかった議員にページ数を、スペースを与

えるべきだという意見ですね。

少林副委員長はどうか。

○**少林副委員長** まず一般質問については、これはあるべきだと思います。いろんなことを調べて、QRコードで見たら中にいろんな情報を、皆さんが調べられたものも入っておりますので、これはまず絶対に入れるべきだと思います。

次に、ほかの議員との公平さというのであれば、それプラスそのページを、何かしゃべるページを設けるべきだと思います。そうするとページ数がさらに増えるというふうに思います。今後するのであれば、サンパールのところで2ページ分使っておりますが、ああいう感じでしかできないのかなと思っています。

○**金繁委員長** はい。ということで質疑に関して、一般質問しなかった人のみに質疑のことを書く必要、ページを与える必要はないというほうの意見ということでいいですか。

尾崎委員。

○**尾崎委員** 質疑というのは自分の意見を述べないというのが原則になっているので、その間ただすだけなので、そこまで載せる質疑というのはどうなんでしょうかと私は思います。一般質問は政策に対して提言なんかできるので、議員の思いとかあるんですけども、質疑と一般質問は全く違うもので、そのように思います。

○**金繁委員長** そうですね。はい、吉田委員。

○**吉田委員** 私も全く同じで、それはちょっと無理だと思います。もし仮に考えるのであれば、ここは全員協議会の中で、誌面を平等性を持たすために、今回はこういう企画をサンパールの企画でしましたと、その理由付けをしながら、次回はじゃあ少子化についてそれぞれの意見を頂戴しましょうとかするか、もしくは一般質問どんどん、別にベテランだからしちや駄目とか、そういう風潮が、昔からの風潮があるんですよ、しちや駄目とか。それはもう全然論外で、こういうマスメディア使えるわけですから、そこはどんだんどんだんアピールすべき場だと思いますし、そういう面では別にそこについてはもうどんだんどんだん一般質問していただいて、誌面を賑わせていくということで、別にそこはいいんじゃないですかね。私は一般質問はしないからっていう主張じゃなくて、ほかの議会を見てもベテラン議員がわけの分からないこと言っている人もいますけども、基本的にはそれはそれでその人の価値観ですから、僕はどんだんどんだんそれは平等にやっていくべきだと思います。

○**金繁委員長** はい、そうですね。私たちは1期目のときに議会活性化委員会で久万高原町に行ったときに、全員が一般質問を目指していますということで、議長も一般質問をされていて、その間は副議長が議長の代わりをするというふうにおっしゃってました。どんだん、本当に半分の議員が多くて半分ぐらいしかしないという状況が続いているので、ぜひ一般質問を皆さんするように議長から励ましていただけるのはありがたいんですけども。先ほど吉田委員がおっしゃっていたところに私は大きなヒントがあるかなと思って、これは個人の議会だよりではなくて、議会の議会だよりであるという側面から考えたときに、議案に対する質疑っていうのは、その質疑は個人個人がしながらも、その議案に対する表決は議会としてするもので、もし一部の議員だけの一部の議案について質疑するのであれば、それこそ一般質問した議員はそこについて何も言えないのであれば不公平な結果になってしまう。賛成意見反対意見、違う意見が出せないという状況も生まれ得るので、そうするとかえって今度は一

般質問した議員に対する不平等感、不公平感も出てくるのかなという気もしました。

今の議論ですと、3人の方が一般質問されない議員に対して公平にスペースを設けるということはしなくて良いのではと。で、2名の方がしたほうが良いという意見でした。委員会としてはしなくてもいいのではということ、一応決めておきましょう。そして、全協でももちろん皆さんの御意見を聞いて、そして専門家の御意見も聞いて、最終決定としたいと思えます。よろしいでしょうか。

はい、7番目。この内容では読みたいと思わない、この内容であればホームページでいいのではということ、これ3番と一緒にということでもいいですかね。はい、まさに、じゃあどうしたらいいかの御提案をいただいて、みんなで良くしていくということでよろしいですか。

8番目。広報と変わらない内容なので、広報でいいものとそうでないものに分けるという点、いかがでしょう。これも内容を変えていくということで、改善していくことはしていきますが、何か御意見あればお願いします。

尾崎委員。

○尾崎委員 今までの会の中で、申合せやないけど、今後議会だよりが出て記事が出れば、広報で今まで出していたところも議会だよりのほうに絞ってやるということで、広報には出さないという話であったと記憶しております。ですから、そのように今後やる中で、かぶらないように注意をして、議会のことは議会だよりで出すということで、しっかりと枝分けをして進めていくことが大事かなと思います。

○金繁委員長 嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 私はやはり広報のほうが編集、発行早いんで、やはりここは今までどおり広報に任すべきところは任した上で、議会だよりではないといけない部分だけを抜き出して議会だよりで出すというほうが効率的なのかなと思っています。

○金繁委員長 広報のほうが早いんですかね。

(「1か月早い」と発言する者あり)

○金繁委員長 今月ぐらい載っていますよね、3月のがね。私たちはこれ6月に出すってことなんですかね。1か月遅れるんですかね。なるほど。

確かその議案に対する賛否の表は残して、広報あいなんのほうに残すという意見もあったかと思うんですけど、委員会報告のほうは議会だよりのほうで担当するという話が出ていたと思うんですけど、嘉喜山委員はそれでいいということでもいいんですかね。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 そういうことになります。広報に関しては、議会側の要望というか、修正どうすとかこうすとかっていうのはできないと思うんですけど、別にそれはそれで広報側で編集したのだから伝わるとは思いますし、さっきも編集したけど、この内容で同じものがダブるのであれば広報に任せたほうが早いしと僕は思っています。

○金繁委員長 嘉喜山委員、同じ内容のものっていうのは具体的に今回の試作品で言えば何に当たりますか。

○嘉喜山委員 一般質問とか、特別委員会の委員会の報告とか。結局、記載内容はその文字、表現の仕方は変わるけど、内容的には変わらないんだから、という意味合い。

○金繁委員長 いや、一般質問は理事者側の答弁も載せるところが大きく異なりますよね。

○嘉喜山委員 それをQRコードでいこうとしているので、広報側にもQRコードつけてもらえばある程度用は足すのかなと僕は思います。

○金繁委員長 いや、それは。あら、ちょっと待ってください。はい、副委員長、どうぞ。

○少林副委員長 今のでいくと、今のたよりの骨子のところが全部なくなるぞと思いますが。本当に簡単なことだけ、もう血も何も通ってないようなのだけまずは広報に載るじゃないですか、もう非常に短く。さらに1か月遅れて、それに対して丁寧な血が入り肉が入ったものがここに来るということで、やっぱり一般質問はいいのではないかなと。こういうの載せるのは。広報とは少し違うと思っているんですが。

○金繁委員長 池田委員。

○池田委員 僕も広報でと最初思いよったんですけど、広報、答弁を載せてもらわないと、QRコードまで行き着く人はいいんですが、そうなってしまうと紙の議会だよりも要らんのかなってかかっていうような御意見は分かるんです。ダブって出すっていうのは本当無駄っていうか、この時代にそぐわないとは思いますが、例えばそうするんやったら広報のほうで答弁も載せてもらおうとかいう方法を取らないといけないんじゃないかと思います。

○金繁委員長 吉田委員。

○吉田委員 僕は基本的には議会だよりは絶対必要だと思っていますので、その主張でいきますと、今回は一般質問とか限りある情報の中でしましたけども、今後は年に4回ぐらいは出向いて行って車座会議もしたいし、例えば議会、高校生呼んで議会でしたいと。これは議会、議員が主体となってそういうことをしていきたいとは思っているんですね。

そうなってくると誌面が幅広く出てくるんで、そういうときには一般質問を外して、その議会、高校生の議会をしてもらって、その意見を載せていくとか、随時こう変わっていくことはあるにせよ、今回はもうこれも試作ですから、そこはそこの中で、枠組みで今回はこういう形になりましたと。将来的にはそういう記事を載せたり、車座会議をして、こういう意見がいっぱいありましたよっていう町民の声も当然載せていきますし、載せていって人にはその場で了解をもらって、そういう写真を撮りながら一時的に載せていくということも可能だと思うんで、そういう面での議会だよりは十分これからは見ていただけるような感じになっていくのであって、広報では、採決については広報が自治体のほうで出してくれるんでしょから、我々は採決については出さなくてもいいんで、そこは分担をしながらやっていけばいいのと、さっき僕もちょっと勘違いしていたんですが、6月1日に、今回の3月の議会については、我々は6月1日なんですよね。これは5月1日は無理なんですってつけ。

(「全体が1か月早まります」の声あり)

○金繁委員長 一般質問は入れるべきという意見が多数なのでこのままにさせていただくとして。嘉喜山委員、よろしいですか。

○嘉喜山委員 そういうあれであればいいんですけど、私の一般質問に対する考え方はちょっと違っているので、そういうふうに言ったままで。以上です。

○金繁委員長 はい。これもね、では、内容的にはね、町民の方の意見を聞きながら、そして高校生議会とか、ぜひ女性議会もやっていこうという話でしたので、そういうことをする中で、
(発言する者あり)

○金繁委員長 はい。視察してきたときに女性議会もついでという声もありましたので言わせていた

だきましたが、これも内容を改善していくとか、読んでもらえるものに町民の方と一緒に作っていくということで、改善していくということに答えていきたいと思います。はい、では9はもういいですね。

10、年1回発行でいいということなんですが、一応これも4回でやりますということでこの中で決めて、全協にも諮り、反対の意見はなかったので一応これで一旦は決まっていると考えていたんですが、またこう意見が出てきました。どうですかね。

吉田委員。

○吉田委員 もう1回だったら出す必要なくて、ホームページで十分なんで、これはちょっともう論外だと思います。

○金繁委員長 嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 これは私が出しました。いや、元々そういう意見なんで。その少数意見としてこれは出しておくべきかなと思うんで。以上です。

○金繁委員長 嘉喜山委員は前からおっしゃってるように、ホームページで見ればいいというね、ことがありましたね。はい。ただ、高齢化が激しい愛南町ですから、紙が必要ではないかと、それから二元代表としてやっぱり議会だよりは出すべきという意見が多数でここに至っております。ということで、こういう少数意見もあるということは残しておきましょう。よろしいですか、皆さん。では今後のスケジュールなんですけど、この試作の完成版を全協に出しつつ、専門家のスケジュールも取っていただくんですが、事務局、現在の状況をお願いします。

本多事務局長。

○本多事務局長 前回、資料として出させていただいた議会だより編集スケジュール案に基づいてスケジュールを確認させていただきますと、一応今日編集作業が終わったということで、5月7日に、いわゆる本来でしたらこのデータを印刷業者とか編集業者にお渡しして、そこで編集業者が第1稿なりを上げていただいて、そこでまた修正等のやり取りをするという予定としております。

その後、そこでデータが固まりましたら議長の決裁を受けて、最終的には5月末、5月24日程度を予定しているんですけども、実際本が印刷されて届くという予定としております。今回はここで編集作業が終わったので、今回の試作版については全てここで終了ということになります。

今後のスケジュールといたしますか、議会に諮るタイミングなんですけども、5月24日に議員全員協議会を予定しておりますので、その中でこの試作版について改めてこういった形ができましたということで紹介する場面になるのかなと思っております。

あと、前回、この委員会の中で、専門家の方に評価をしていただこうということがあったかと思いますが、その際に講師の候補として上がっておりました佐久間先生なんですけども、これについて県の議長会のほうに問合せさせていただいたんですけども、先生のほうが愛南町にぜひ行きたいということではあったんですが、もう今年の、令和6年度のスケジュールがいっぱいでどうしても来れないということになりましたので、昨年同様に中村先生に今ちょっとアポを取っております。中村先生のほうは一応オーケーはいただいているんですけども、日程についてはまだ調整中ということで、先生の返事を待っているという状況であ

りますので、またその状況が決まりましたら御報告させていただきます。以上です。

○**金繁委員長** はい、ありがとうございます。中村先生のスケジュールが決まりましたら、また前回と同様、議員全員で聞き、また傍聴もできるという形でぜひお願いします。

それでは、皆さん大変お疲れさまでした。今日の編集委員会を終わります。今後のスケジュール、またよろしくをお願いします。

○**少林副委員長** ということで、今日も大変すばらしい意見交換だったと思います。どうもお疲れさまでございました。

議会だより発行準備特別委員会委員長